スーパーエアヒータ用 デジタル温度調節器

DAC-8D

取扱説明書

1. 概　要

本品は、スーパーエアヒータ用温度調節器として、デジタル表示により正確かつ高精度の熱風を供給する目的で開発されたものです。
エアヒータの吹出口熱風温度の調節は、表面のパネルのキー操作により所定の温度に設定するだけで、常時熱風温度をセンサ（熱電対）にて測定しながら、PID制御方式により出力コントロールを行います。

2. 仕　様

電源電圧	AC100V　50／60Hz	AC200V　50／60Hz	入出力異常警報	イベント（付加接点）出力2点
使用ヒータ	100, 200, 350, 500, 650, 800, 1000W	200,440,650,1000,2000W	警報接点容量	AC250V 3A, DC30V 1A
温度範囲	0～800℃		外部入力	入力点数1点
制御方式	PIDオートチューニング		入力形式	無電圧接点またはオープンコレクタ
温度警報	上下限偏差警報		寸法	W100×H74×D196
精度	指示値の±0.5%FS		重量	1.2kg

3. 各部の名称

コントロール部

コントロールパネル

①	第1表示部
②	AT及びST用LED
③	第2表示部
④	モード表示灯
⑤	（温度）設定キー
⑥	パラメータキー
⑦	モードキー
⑧	電源スイッチ
⑨	1電源入力端子
⑩	2電源入力端子
⑪	3ヒータ出力端子
⑫	4ヒータ出力端子
⑬	5センサ(熱電対)入力端子(＋)
⑭	6センサ(熱電対)入力端子(－)
⑮	7警報リレー出力端子(COM)
⑯	8警報リレー出力端子(EV1)
⑰	9警報リレー出力端子(EV2)
⑱	ヒューズ
⑲	11外部接点入力（RSW1）
⑳	12外部接点入力（COM）

外部結線図

リアパネル

4．運　転

4−1　準　備

①電源スイッチは始め必ずOFFにして下さい。

②裏面パネルの端子台へ電源入力、ヒータ出力、センサ入力、警報リレー出力の各端子をそれぞれ接続して下さい。

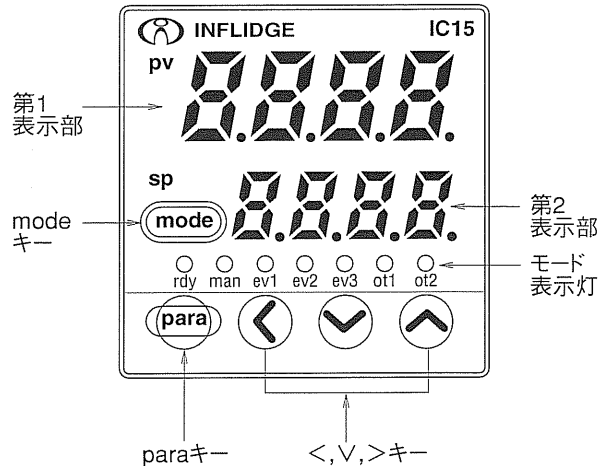
4−2　開　始

①スーパーエアヒータへエアーを供給して下さい。

②電源スイッチをONにしてください。

③以下の手順に従ってコントロール部の操作を行って下さい。

（設定の変更がない場合は2回目以降の運転時にこの操作は必要ありません。）

SP値の設定　主設定(SP)値を設定します

4−3　終　了

①電源スイッチをOFFにして下さい。

②OFFにした状態で5分程経過した後にエアー供給を停止して下さい。

5．アラームコード

本器は異常発生時に上段表示部にアラームコードを表示します。

アラームコード	異常名称	原　因	処　置
AL01	PV入力異常（注）	センサ断線、誤配線、レンジコードの誤設定	配線の確認、レンジコードの再設定
AL02	PV入力異常（注）	センサ断線、誤配線、レンジコードの誤設定	配線の確認、レンジコードの再設定
AL03	CJ異常	端子温度補償部故障（熱電対）	本体交換
	PV入力異常（注）	センサ断線、誤配線（測温抵抗体）	配線の確認
AL70	A/D変換異常	A/D変換部故障	本体交換
AL97	パラメータ異常	データ確定中に電源OFF、ノイズなどでデータ破壊発生	データの再設定
AL98	調整データ異常	ノイズなどでデータ破壊発生	本体交換

AL97 以外のアラームコード発生時は、操作量(制御出力量)は、0%(OFF)となります。また、操作量以外の計器動作は継続します。

AL97 が発生しても、すべての計器動作は継続します。

（注）　●熱電対の入力断線時表示／動作

異常状況	指示値	アラームコード
センサ断線	アップスケール	AL01

6．使用場所について

次のような場所での使用はさけてください。

(1)周囲温度が35℃以上、又は−10℃以下の場所。

(2)周囲温度変化の大きい場所。

(3)極端に湿度の高い場所（85%RH以上）。

(4)振動・衝撃の激しいところや、塵埃・水しぶきがかかる場所。

※使用に際しては取扱説明書をよく読み、感電等に充分注意して作業を行って下さい。

〒223-0052　横浜市港北区綱島東5-9-7
Phone（045）544-7531
Fax（045）544-8310
http://www.inflidge.co.jp/